

令和4年7月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和4年7月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、3年連続中止となった三社大祭の神社行列と山車合同運行の代替行事が開催されることが決まりました。

伝統の技術継承と地元のにぎわいの取戻しを目指し、市の中心街では、全山車組が共同制作した移動可能な組み立て式の山車の運行、市庁前の市民広場では、山車組それぞれが制作した据え置き型の小型山車の展示などが予定されています。

◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-2 全国都市会館 5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸 7月号 レポート

令和4年6月の八戸市内での出来事や
八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
(1)	地球環境戦略研究機関 八戸圏域で課題調査
(2)	八戸市 原油・物価対策 プレミアム商品券発行
(3)	八戸市 コロナ禍、三春屋閉店受け 第4期中活計画策定へ
(4)	八戸・はっちでビジネスチャンスをつかめ！交流促進型カフェ募集
(5)	八戸市 飲食・物販支援事業始動 マチニワ利用料免除

【産業】

記事	概要
(6)	八食活性化へ魅力体感 観光ビジネス提案プロジェクト参加 立教大生が現地調査
(7)	プロクレアHD 経営健全性格付「安定的」
(8)	八戸酒類とSDGsプロジェクト 無農薬米でおいしい酒を
(9)	東北新幹線八戸開業20周年 12月に記念イベント
(10)	「風っこ やませ号」運行 八戸線で7月30日、31日
(11)	八工大など開発 検体採取ボックス全国へ PCR検査用、受注販売

【地域】

記事	概要
(12)	八戸高専専攻科 石橋輝さん研究 伝熱シンポ優秀賞受賞
(13)	呉勝浩さん（八戸） 直木賞候補に
(14)	ウミネコ被害 異例500羽超 八戸・蕪島シンポで「守る会」が報告
(15)	フォーラム八戸 チーノ9月閉館以降も営業継続
(16)	八戸 久々ホコテンにぎわい
(17)	田中美華さん（八戸） 内閣府「女性のチャレンジ賞」特別部門賞

【文化・スポーツ】

記事	概要
(18)	強豪圧倒！佐々木未桜（根城中）全国中学生レスリング女子36キロ級 栄冠
(19)	VISITはちのへ えんぶり伝承師5人認定
(20)	秋山（八戸大出） 広島カープと3年契約

【行政】

記事	概要
(1)	<p>地球環境戦略研究機関 八戸圏域で課題調査</p> <p>都市部や農村部など、異なる地域で資源を補完しあって持続可能な社会をつくる「地域循環共生圏」に関し、八戸市など8市町村で構成する八戸圏域連携中枢都市圏で、同共生圏の枠組が作れるか調査、研究が行われることとなった。調査を進めるのは「地球環境戦略研究機関」(IGES、神奈川県葉山町)に所属するバングラデシュ出身のミトラ・ビジョン・クマールさん。今後、人口減少や空き地の増加など、地域の課題に関して2年程度かけ調査、研究を進め、解決策を模索する。地域循環共生圏に適用可能と判断した場合は、八戸モデルとして世界に発信することも検討する。</p>
(2)	<p>八戸市 原油・物価対策 プレミアム商品券発行</p> <p>八戸市は6月16日、ロシアのウクライナ侵攻や円安の進行で、原油価格や物価の高騰を受けた独自の経済対策として、新たにプレミアム商品券の発行事業を実施する方針を明らかにした。商品券は1セット1万5千円分を1万円で販売し、プレミアム率は50%。市民一人につき1セットの販売だが、希望者全員が購入できる約22万2千セットを発行する。利用開始は秋ごろで、全て利用されれば約33億円の経済効果を見込む支援策を展開する。7月下旬の利用開始となるプレミアム食事券との相乗効果も見込んでいる。</p>
(3)	<p>八戸市 コロナ禍、三春屋閉店受け 第4期中活計画策定へ</p> <p>新型コロナウイルス禍や三春屋閉店で八戸市中心街の衰退が深刻化していることを受け、熊谷雄一市長は6月13日、第4期市中心市街地活性化基本計画の策定を目指す意向を表明した。第3期計画が2023年度で最終年度を迎えることから、切れ目なく施策を展開したい考え。市は、八戸商工会議所や関係団体と協議を重ね、本年度中に概要をまとめる方針。中心街の行く末に懸念が広まる中、新たな方針や取り組みを掲げ街なかの再生へ取り組みを加速させる。</p>
(4)	<p>八戸・はっちでビジネスチャンスをつかめ！交流促進型カフェ募集</p> <p>八戸市は本年度、八戸市三日町の「はっち」について、コミュニティービジネスの活用をコンセプトに施設の機能を強化する。ビジネスの視点で地域の課題解決に取り組む団体や事業者、幅広い世代の利用を見据えたカフェの入居を進め、中心街の交流拠点としてさらなる充実を目指す。入居者を募集するのは1階のカフェスペースと4階のものづくりスタジオ。カフェスペースは多くの人が気軽に集えるコミュニティーカフェにし、幅広い世代が情報交換できるような交流促進型を目指す。11、12月に公募し、入居は来年4月の予定。スタジオは、これまで伝統工芸や手芸品などの作家だけを募ってきたが、コミュニティービジネスの活動拠点としての利用も視野に入れる。7月から公募を実施し、11月の入居を見込む。</p>
(5)	<p>八戸市 飲食・物販支援事業始動 マチニワ利用料免除</p> <p>八戸市三日町のマチニワの利用を促す市の「マチニワイベント支援事業」が本格的にスタートした。事業は、新型コロナウイルスの影響で打撃を受ける観光・飲食関連業の需要回復と、大型公共施設の利用促進が狙い。市内の3事業者以上による飲食・販促イベントが対象で、会場と備品の利用料を免除する。6月17日には、第1弾として同市南郷でクラフトビールを製造するカネク醸造が蔵開きビアパーティーを開催。会場では4種類の生ビールを求めて仕事帰りの市民らが列をなし、マチニワが久しぶりに活気で満ちた。イベントは随時受け付けている。</p>

【産業】

記事	概要
(6)	<p>八食活性化へ魅力体感 観光ビジネス提案プロジェクト参加 立教大生が現地調査</p> <p>八戸市の八食センターと連携協定を締結する立教大観光学部の3、4年生12人が八食の活性化に向けた「観光ビジネスプロジェクト」の一環で現地調査に訪れた。八食は2019年から同大学と連携事業を展開しているが、新型コロナウイルスの影響でプロジェクトの受講生全員が訪れたのは今回が初めて。学生は本年度、電子商取引（EC）サイトの強化をテーマに活性化策を提案する予定。特徴である「郊外型市場」の施設を見学したり、「七厘村」で自慢の水産物を味わうなど魅力を体感し、今後の活性化策の参考にした。</p>
(7)	<p>プロクレアHD 経営健全性格付「安定的」</p> <p>青森銀行とみちのく銀行の共同持ち株会社「プロクレアホールディングス(HD)」は、経営の透明性や健全性を示す長期発行体格付について、日本格付研究所(JCR)と格付投資情報センター(R&I)の「Aマイナス」(安定的)を取得したと発表した。A評価は上から3番目のランク。経営統合による相乗効果で営業基盤が強固になり、収益の改善や強化に結びついていくと評された一方で、同評価の地域金融機関の中では、資本水準や収益力がやや見劣りするとの指摘もあった。また、青森銀行は2021年に評価を受けた「Aマイナス」(ネガティブ)から、みちのく銀行は「BBBプラス」(安定的)からそれぞれ「Aマイナス」(安定的)に格上げされた。</p>
(8)	<p>八戸酒類とSDGsプロジェクト 無農薬米でおいしい酒を</p> <p>八戸工業大の教員や学生と地域資源の発掘に取り組む住民団体「ふるさとルネッサンス」で構成する「しまりSDGs実戦プロジェクト」は、地元の酒造会社と連携し、環境への負荷が少ない無農薬米を使い、この地の風土にあった日本酒造りを進めている。7月5日は、八戸市南郷島守地区の水田で、プロジェクトメンバーと、八戸酒類の社員計35人で無農薬で育てた「まっしぐら」の田植えを実施した。リーダーを務める同大の星野保教授は、自然農法のため小まめな除草が必要なながらも、「環境への負荷が少なく里山の生物の多様性も維持される」と、無農薬栽培がSDGsにつながる取り組みであることを強調する。</p>
(9)	<p>東北新幹線八戸開業20周年 12月に記念イベント</p> <p>東北新幹線八戸開業20周年に合わせ、八戸市など関係団体は12月3、4日の両日、八戸駅構内などで記念イベントを実施する。盛岡ー八戸間は2002年12月1日に開業し、八戸地域に大きな経済効果をもたらした。記念イベントでは、式典やステージ発表、グルメを楽しめる催しやVISITはちのへによる「全国地場産フェア」などが行われる予定。新型コロナウイルス禍で各種行事が自粛される中、来訪者への歓迎ムードと社会活動の再開に向けた機運を醸成し、観光振興や交流人口拡大による地域経済活性化を図る。</p>
(10)	<p>「風っこ やませ号」運行 八戸線で7月30日、31日</p> <p>JR東日本盛岡支社などは7月30日、31日の両日、八戸線で特別車両「風っこ やませ号」を運行する。特別車両は、側面の窓ガラスが外せるため季節の風を感じることができ、ボックスシートやテーブルが木製の車にはレトロで温かみのある雰囲気となっている。JR青森支店によると、八戸線では、2007年～09年に企画列車として走って以来、13年ぶりの運行。今回は旅行商品限定の団体臨時列車として運行する。八戸駅発着の日帰り商品や久慈駅発の片道乗車プランもある。八戸駅発着は、大人6500円、子ども5200円。久慈駅発は3900円、子ども3400円。商品は、JR東日本びゅうツーリズム&セールス「日本の旅、鉄道の旅」サイトなどで購入できる。</p>

(11)	八工大など開発 検体採取ボックス全国へ PCR検査用、受注販売
	八戸工業大は6月27日、八戸市立市民病院や地元企業と連携し開発した新型コロナウイルスのPCR検査用「検体採取ボックス」を全国展開することを発表した。検査対象者がアルコール消毒できる塩化ビニールを使用したボックス内に入り、医療従事者は外から手を入れて検体を採取する仕組み。内部は外にウイルスが漏れないよう陰圧化できる。これまで市内や三戸郡内の医療機関のみで活用されていたが、各地にネットワークのある青森総合警備保障（青森市）を通じ、受注販売する。

【地域】

記事	概要
(12)	八戸高専専攻科 石橋輝さん研究 伝熱シンポ優秀賞受賞
	八戸高専産業システム工学専攻2年の石橋輝さんは、サウナに関する研究発表で、日本電熱シンポジウム（日本電熱学会主催）優秀プレゼンテーション賞を受賞した。高温の室内、水風呂、休憩の順番を繰り返すサウナの入浴法は、リラックス効果などが期待される一方で、急激な体温変化により一時的に血圧が上昇し、心筋梗塞や脳出血を起こす危険性をはらむ。正確な体温変化の予測ができれば体調の急変を防ぎ、安全にサウナを楽しめるようになると、サウナ入浴時の人体深部温度の予測に関する研究発表を行った。同賞の受賞は、全国の高専史上初の快挙となった。
(13)	呉勝浩さん（八戸） 直木賞候補に
	第167回芥川賞、直木賞の候補作が6月16日、発表された。直木賞候補には、八戸市出身の呉勝浩さん（大阪市在住）の「爆弾」（講談社）など5作品が選ばれた。呉さんは、青森県立八戸高、大阪芸術大卒。2015年、江戸川乱歩賞を受賞した「道徳の時間」でデビュー。大藪春彦賞、吉川英治文学新人賞、日本推理作家協会賞を受賞するなど着実に文壇での評価を高めている。直木賞は、第162回の「スワン」、第165回の「おれたちの歌をうたえ」に続き、長編3作連続の候補入りとなった。選考会は7月20日、東京・築地の料亭「新喜楽」で開かれる。
(14)	ウミネコ被害 異例500羽超 八戸・蕪島シンポで「守る会」が報告
	八戸市鮫町の蕪島で繁殖中のウミネコが天敵の野生動物に相次いで襲われている問題で、今年の繁殖期に被害を受けた成鳥が約500羽に上っていることが分かった。6月18日のウミネコと蕪島に関するシンポジウムで「ウミネコ繁殖地蕪島を守る会」相談役の成田章氏が報告した。これは過去10年間で異例の被害数で、市教委のまとめでは、過去の被害数は多い年でも200羽程度だった。ひなの減少などを招き、将来の繁殖に影響を及ぼす可能性もあることから、研究者は蕪島の将来が懸念されると指摘している。天敵対策について成田氏は、わなの設置などの対策を断続的ではなく長期間行うことが重要と強調した。
(15)	フォーラム八戸 チーン9月閉館以降も営業継続
	再開構想が浮上する八戸市十三日町の商業ビル「チーンはちのへ」内の映画館「フォーラム八戸」について、運営会社の八戸フォーラムは6月18日、チーン閉館予定の9月以降も当面、営業を続ける考えを明らかにした。営業を続ける判断をしたのは、チーン閉館後もすぐにビルが解体される見通しにないことなどが背景にあるとみられ、ビルを運営する「八戸スカイビル」の同意も得たとしている。チーンを巡っては、東京の不動産会社が隣接するビルと共に取得、解体し分譲マンションや複合商業ビルなどを整備する計画を表明している。フォーラム八戸に関しては、市内唯一の映画館であることからビル閉館後のフォーラム八戸に市民の関心が高まっていた。

(16)	<p>八戸 久々ホコテンにぎわい</p> <p>八戸市中心街が歩行者天国になるイベント「はちのへホコテン」が6月26日、同市十三日町から三日町にかけての通りとヤグラ横町で開かれた。新型コロナウイルスの影響で中止が続いており、2020年10月以来の開催。この日の市内は、真夏日で強い日差しが降り注いだにもかかわらず多くの市民が来場。沿道には飲食などのブースが設置され、大道芸や音楽ライブ、ダンスなどの多彩なイベントが行われ、中心街は久しぶりに大勢の市民でにぎわった。</p>
(17)	<p>田中美華さん（八戸） 内閣府「女性のチャレンジ賞」特別部門賞</p> <p>社会の課題の解決や、新たな分野に活躍の場を広げるために挑戦を続ける個人や団体を表彰する、内閣府の2022年度「女性のチャレンジ賞」の特別部門賞に、オンライン秘書会社「リモートストーリーズ」代表の田中美華さんが選ばれた。田中さんは八戸市出身。都内のベンチャー企業を経て、15年に英語講師として独立し、事業をオンライン化してリモートワーカーとなった。17年に仕事と子育てを両立するために同市にUターンしている。田中さんは、就労を希望する子育て世代の女性を対象としたデジタル活用術のオンライン大学を主催するなど、女性の社会参画を積極的に推進している点が高く評価された。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(18)	<p>強豪圧倒！佐々木未桜（根城中）全国中学生レスリング女子36キログラム級 栄冠</p> <p>6月11、12日に行われた「第48回全国中学生レスリング選手権」女子36キログラム級で、八戸市立根城中1年の佐々木未桜（八戸クラブ所属）が優勝した。初戦で福岡県代表の3年生にTフォール勝ち。準々決勝は開始46秒でフォール、準決勝も相手を寄せ付けず、決勝は、スピードのある三重県の2年生相手にTフォールで勝利した。初戦からの4試合を通じてポイントを奪われたのは準決勝の1ポイントだけという、1年生ながら全国の強豪を圧倒しての優勝だった。佐々木選手所属の同クラブは、2026年に青森県で開催予定の国民スポーツ大会に向けた強化拠点クラブに指定されている。</p>
(19)	<p>VISITはちのへ えんぶり伝承師5人認定</p> <p>八戸圏域版DMO（観光地域づくり推進法人）「VISITはちのへ」は6月17日、国の重要無形民俗文化財「八戸えんぶり」の保存伝承や用具などの制作に長年携わる、2021年度の「えんぶり伝承師」に5人を認定した。認定されたのは、大塚健治さん（重地）、田端三千則さん（東十日市）、小向修さん（百石）、大堀鉄雄さん（八太郎）、内城慶富さん（田代）。認定は2006年から実施しており、伝承師は計76人となった。</p>
(20)	<p>秋山（八戸大出）広島カープと3年契約</p> <p>広島は6月27日、米大リーグ、パドレス傘下のマイナー3Aエルパソを自由契約となっていた秋山翔吾外野手（八戸大出）の獲得を発表した。秋山は神奈川・横浜創学館高→八戸大からドラフト3位で2011年西武入団。15年に216安打のプロ野球記録を樹立。首位打者1度、最多安打4度。20年に海外フリーエージェント権を行使しレッズに移籍した。1番打者を固定できずにいた広島として、秋山の入団はチームの泣きどころを一気に解決する最適のピースとなった。広島とは2024年までの3年契約。</p>

はちのへ

ふるさと寄附金のご案内

『ふるさと寄附金』で八戸を元気に！

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただく寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



ふるさと寄附金の3つの魅力

① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 松橋 大輔 [主事] 前田 哲 [事務員] 浜井 章代

申込み方法

郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



送付先

八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。